

ワークショップ1：日本の常識 海外の非常識

留学という名の異世界へ ～日本の常識・海外の非常識～

広島大学大学院医系科学研究科 腎泌尿器科学

郷力 昭宏*

抄録：

海外留学というのは異世界転生に近い体験かもしれません。環境は大きく変わりますので大変なことは多いですが、そこには日本では得がたい魅力や人生を豊かにできる時間があります。異なる言語、価値観との出会いなどを通して、留学は私たちの日常の枠組みを超えて、新たな世界を開拓する機会です。研究面でも同様で、これまでにない視点やアドバイスを世界から受けることができ、これらが人生における成長につながるものと思います。

(西日泌尿. 86 : 213-214, 2024)

キーワード：海外留学, これまでにない視点, 人生における成長

はじめに

海外留学というのは異世界転生に近い体験かもしれません。環境は大きく変わりますので大変なことは多いですが、そこには日本では得がたい魅力や人生を豊かにできる時間があります。昨今、現世とは異なる異世界へ転生して、記憶はそのままに新しい人生を歩むといった書籍や物語が多くみられますが、海外留学も大きな枠組みでいえば似たようなものなのかもしれません。異なる言語、習慣、価値観との出会いなど、留学は私たちの日常の枠組みを超えて、新たな世界を開拓する機会です。

留学の経緯

前任の林哲太郎先生が帰学されるタイミングで、入れ替わりで留学しないかとお話があり、2015年1月から2017年3月まで University of British Columbia の施設である Vancouver Prostate Centre, Dr Peter C. Black のラボにお世話になりました。ラボには他にスイスやドイツ、スペイン、インドなどから留学された方がおられました (Fig. 1)。他の研究室には日本の他大学から留学された方もおられましたので、日常生活や研究の開始にあたって大いに助けていただきました。不幸にも留学1カ月前に膝前十字靱帯の手術をすることになり、リハビリもままならない状況での留学開始でしたので、非常に不安が大きかった渡加でした。

日本の常識・海外の非常識

まず当然ですが、気候が違います。バンクーバーでは毎年11月～4月くらいまでは毎日ほぼ雨です。日本での感覚でいくと雨が降っていても数日でやみますし、冬でも晴れた日はきれいな青空が広がりますが、本当に毎日雨なのです。現地の方に聞くと、毎日雪よりはいいだろうと言われました。確かにカナダではバンクーバー以外、冬は毎日雪です。とはいえ長期間にわたって青い空が見られないことがこんなにも精神的にダメージを受けるものだとは思っていませんでした。

日常面では家族と過ごす時間が増え、ともに困難を乗り越えるという体験を共有することで絆が深まります。友人家族や時には上司の家族とのホームパーティーも数多くあり、家族ぐるみの付き合いは日本にいたときよりも明らかに機会は増えました (Fig. 2)。時には公園で子供同士遊んでいたところから家族ぐるみの交流に発展

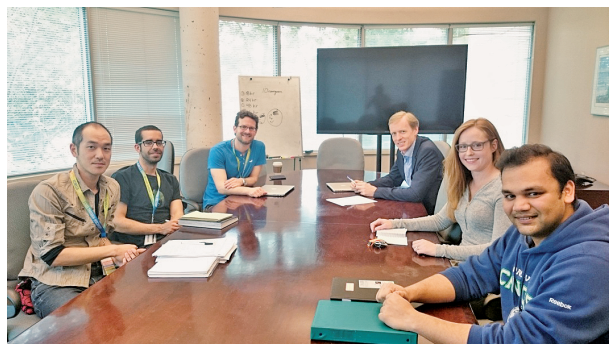


Fig. 1 Meeting with lab members

* 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3
TEL 082-257-5242, FAX 082-257-5244
E-mail agorikil@hiroshima-u.ac.jp

することもありました。こういった交流を通じてお互いの理解を深め、尊重し合い、日常生活や研究生生活の一助となっていました。

おわりに

その他にも日本だったらこうなのにとすることは多々ありましたが、郷に入っては郷に従うというのはその通りで、徐々に自分の中で受け入れができてくるようになると内向きだった心が外に向くようになっていき、行動範囲が広がり、コミュニケーションをとることに躊躇がなくなっていました。特に英語がすごく上達したわけでもありませんでしたが、話すことに対する恐れがなくなっていくにつれて友人も増え、研究面でも少しずつ前進が見られるようになったと思います。物語の異世界生活のようにトントン拍子にはいきませんが、留学が新たな視点と経験をもたらし、異なる文化や考え方に対する理解を深め、それが家族も含めて人生における貴重な体験となり、成長につながるものと思います。



Fig. 2 One of the recreations with friends and families

謝 辞

Vancouver Prostate Centre の Dr Peter Black 及び研究室の皆様には温かいご指導を賜りました。心より感謝申し上げます。

ENGAGING IN OVERSEAS STUDY IS LIKELY THE JOURNEY TO THE DIFFERENT WORLD

AKIHIRO GORIKI

Department of Urology, Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, Hiroshima, Japan

Abstract

Overseas study mirrors a transformative experience, resembling a journey to an alternate world. Interactions with varied languages, customs, and values during overseas study transcend our routine, offering an opportunity to venture into different world. Although substantial environmental changes, it presents a priceless chance to explore captivating aspects, enriching life in ways uncommon in Japan.

(Nishinohon J. Urol. **86**: 213-214, 2024)

key words: Overseas study, priceless chance, enriching life